

## 東京都の世界自然遺産登録に向けた最近の取り組み

## 資料等作成業務

## 17年度の実施内容

- ・登録推薦を進めるための基礎資料作成  
検討会の設置（2月7日、3月9日開催）

## 委員

海野 進	静岡大学 教授
小野 幹雄	東京都立大学 名誉教授
加藤 英寿	首都大学東京 助手
苅部 治紀	神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員
川上 和人	森林総合研究所 多摩森林科学園
清水 善和	駒沢大学 教授
千葉 聡	東北大学大学院 助教授
長谷川 博	東邦大学 教授
堀越 和夫	NPO法人小笠原自然文化研究所 理事
吉田 正人	江戸川大学 助教授

- ・稀少動植物等の撮影及び映像収集

## 18年度の執行内容

- ・都が実施すべき外来種対策及び固有種保護等に関する実施計画案の作成
- ・普及啓発資料の作成  
パンフレットの原稿作成（A4版 8頁程度 カラー 日本語・英語）  
広報用映像の作成（編集時間15分程度 DVD）。

## 普及啓発（共同実施）

- ・環境省，母島観光協会と協力して、外来生物拡散防止及び希少昆虫捕獲の防止に関する普及啓発ビデオを作成した。現在、おがさわら丸及びははじま丸船客待合所にて放映中。
- ・ははじま丸において、外来生物拡散防止及び希少昆虫捕獲の防止に関する船内放送を実施中。

## 兄島ノヤギ対策

### (1) ノヤギ排除

追い込み捕獲、トラップ捕獲を実施。銃器使用時のシミュレーションを実施。  
兄島北西部に柵を設置し、島の1/6程度を分断し、その地域の完全排除を目指す。  
今年度の目標としては、生息数 概ね100頭以下とすることを旨とする。

#### ・排除実績

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	合計
追い込み	69	128	34	231
罟・網等	0	42	13	55
計	69	170	47	286

平成18年9月1日現在



追い込み捕獲



わな捕獲

### (2) 希少植生保護柵



### (3) 作業にあたっての配慮



海水洗淨  
ウズムシ対策



梱包  
アルコール対策

上記配慮の他、捕獲作業中の配慮として、貝食性プラナリアの拡散を防止するため、作業中に適宜、飽和食塩水により靴底を洗淨